

2019 災害時避難所実習 at 大手前高校 役割実施記録から 令和元年 7 月 16 日（火）18：00～20：00 at 大阪府立大手前高等学校

班	役割	指摘事項
隊長 副隊長	・避難所開錠・受付 ・物資庫・ポンプ庫開錠 ・役割分担 ・本部運営	・今回の受付場所の周りにガラス窓があり震災時の割れが気になる。周辺に広く飛び散る。 ・鍵管理副隊長が開錠する前に物資庫、ポンプ庫の鍵が開いていた。早く鍵開けするには手訳が必要。 ・役割分担から高校定時制と合流しての活動開始へとスムーズに進んだ。
受付・案内班	・受付運営・案内	・受付シートにはクリップボードが必要。時刻ごとにシートを分けた方が整理しやすい。 ・シールに記入されていないのに区役所から男女年齢別を聞かれた。→緊急対応時はわからなければそれでよい。 ・近年性別を聞きにくくなっている。所属の書き方が任意なので控がわかりにくい。 ・受付表示はテーブルに下げるのではなく高い位置が良い。
	・要配慮者付添い	・今回は要配慮者が集まってから避難場所に誘導したが、本番では判断が必要。 ・車いす利用者は下り坂の様子や段差が見えにくいので誘導時に声をかける必要がある。
情報班	・防災無線 ・掲示板設置・記入	・事務室の無線機はつながりにくく、区役所準備のものを使用。電波状況は十分ではないが、受付付近で通話を確保。 ・ゆっくりと会話しないとメモを取り切れない。 ・取扱説明書に音量調整など初歩的な操作の記載がなく戸惑いがあった。 ・ラジオに備蓄の電池を装着したが起動せず、事務局準備の電池で起動した。
設営班	・避難場所開錠・設営	・高校の先生が場所をよく知っておりスムーズに鍵開けできた。要配慮者を誘導する柔道場の扉が片側しか開かない。 ・案内表記はその場で書けるような準備が必要。 ・特設公衆電話端子の位置が高く前にごみ箱が置いてあった。3つの端子のうち真ん中を使ったがつながらなかった。
衛生班	・トイレ管理 ・簡易トイレ設営	・トイレのテントはチャック式なので使用中かがわかりにくい。 ・大手前高校では屋外の多目的トイレと男女便所に洋式便器があるのでこれを簡易トイレとして使うのが現実的。
電源・照明班	・照明設置・点灯	・LED投光器、スマホ充電器等新規備蓄機材も設置し作動を確認した。使用後のガス抜きを確認した。 ・発電機はカセットポンペを2本とも装着しないといけないが、どちらがはまっていないかわからず使いづらい。
救護班	・けが人応急救護・搬送	・緊急治療が必要な人の見分け方が役立つ。…「痛い、痛い」という人よりいえない人の方が重篤。 ・けが人を持ち上げる際の指導があつてよかった。
消火班	・可搬式ポンプ体験	・消防署の指導により体験。暗くなった時に手順がわかるような備えが必要。逆ねじ操作はなくすか、大きな表示を。 ・30分では操作の習得は難しいので、市民消防教室や消防体験教室を受けてほしい。
物資・食料班	・備蓄食料管理	・高校生が物資を運んだのでスムーズだった。 ・できるだけ番号が見えるように積み直したが、物資が多く探しづらい。

○ 全般

- ・ 合同実習により教職員も学生も災害時の状況を実感できたのではないかと。教職員や学生は帰宅困難者であり、有志でどこまでするか考える必要がある
- ・ 振り返りの意見交換で様々な課題がわかるので、これを活かして次につなげていく必要がある。
- ・ 実習で起こるような混乱や不具合が実際に起こる可能性があり、その場合は自分のアイデアで乗り切る必要がある。

○ 総評

- ・ 昨年は初めての合同実習で混乱や戸惑いが見られたが、今年は連携がスムーズで、先生のリーダーシップによる学生の活動力が目立った。消防署による放水指導、日赤指導員による応急救護・けが人搬送指導など、画期的な展開もあり良かった。